

第1問 【30点】

問1 ① B ② D 問2 1 ③ ア・ウ 2 ④ ウ・エ (1、2とも完全解答)

<レポートの構成表 全体構成>

標題：デパート出店時におけるアンケート調査に関する報告

1 レポートの目的

6月7～9日、Aデパートの催事に出店した。来場者へのアンケート調査の結果を分析し、今後の商品づくりの参考とする。

2 調査の概要

- ・調査方法：300人に試食品を配布し、見た目と味について、5点（とてもよい）～1点（よくない）の5段階で評価をしてもらう。
- ・配布商品：青梅（6月定番の商品）、ミニどら焼き、ウサギ型もなか

3 結果と分析

集計結果と分析は次の通り。評価は、平均点4点以上を「◎」、3点以上4点未満「○」、2点以上3点未満「△」、2点未満「×」として示す。

	女性（150人）			男性（150人）		
	青梅	ミニどら焼き	ウサギ型もなか	青梅	ミニどら焼き	ウサギ型もなか
見た目	◎	△	◎	○	△	○
味	◎	◎	△	○	○	×

- ・「青梅」は見た目、味ともに評価が高い。「ミニどら焼き」「ウサギ型もなか」は見た目の評価と味の評価がアンバランスである。
- ・男性と女性を比べると、女性の方がより高い評価をつける傾向が見られる。

4 今後の商品づくりに向けて

- ・見た目だけ、味だけでなく、両方クオリティーの高い商品開発が必要だ。
- ・男性の味覚をさらに詳しく調査して、商品開発に反映させることが課題だ。

以上

第2問 【40点】

問1 ウ

問2 解答例

複数回答の上位10項目を見ると、2位に「プレミアム」が入っている。また、3位「リッチ」は直接的に、4位「大人の」は、そのイメージから間接的に「ぜいたく感」を表していて、どちらも「プレミアム」に通じるものと言える。この結果は、菓子にも消費者の「高級志向」があることを示している。(22字×7行)

裏へ続く

第3問 【50点】 作成例

ご返送いただいた商品を調べてみましたところ、製造時についた汚れではなく、材料にもともとある色ムラだとわかりました。弊社で扱っている革製品はすべて天然の素材を使っております。そのため、自然の色ムラが出る場合がございますので、ご理解いただければ幸いです。

お買い求めいただきましたパスケースにつきましては、同タイプの新品を同封いたしました。お納めください。

今後もお気づきの点がありましたら、ご指摘いただければ有り難く存じます。今後とも弊社製品をよろしくお願い申し上げます。

敬具

(22字×13行)

第4問 【80点】

作成例1

私の姉は社会人二年目だ。残業で帰宅が遅くなる日もたびたびある。先日も忙しい日が続いていたようで母に不満を漏らしたところ、思いがけない反応が返ってきたという。母は、あの社長ならきっと従業員一人一人のことをきちんと見てくれるはずだから、忙しくても与えられた仕事をしっかりとやりなさい、と言ったそうだ。実は、姉の会社は入社式に親の同伴が可能であり、母が列席していたのだ。そう言えば、母は入社式からの帰宅後、この会社なら安心して娘も働けると言うと言っていた。

母は入社式に同伴したことで、姉の勤める会社の理念や具体的な仕事内容について、ある程度理解していたのであろう。それが今回の反応につながったのだと思う。子の入社式に親が同伴することについては私は賛成だ。

社会人として働き始めると、時には大変なことやつらいことが起こるものだ。自分一人ではうまく気持ちを処理しきれないこともあるだろう。そのようなとき、家族の支えがあると大きな安心感につながる。子が入社した会社に親が同伴し会社の様子を少しでも理解していれば、より親身なアドバイスができるだろうし、子の側もアドバイスを受け入れやすい。

他方、入社式に親が同伴することを社会人としての精神的な独立ちができていないととらえる向きもある。だが、社会人としてスタートする姿を親に見せ、それを区切りとして独立ちの決意をするきっかけにもできる。そうとらえれば、親の同伴は精神的な依存どころか、逆に独立を象徴する行為と言えよう。(22字×31行)

作成例2

私は物流関係の会社で働いている。ここ数年、新入社員の親から入社式に同伴してよいかとの問い合わせが続いたことを受け、昨年度から親も入社式への列席が可能になった。今年度の上社式では、ほとんどの親子が会社の玄関前で写真撮影をしたため、開式の時間が遅れてしまった。また、会社側は、事前に家族代表のあいさつを依頼したり、親などに向けた仕事内容の説明会を式にあわせて行ったりしている。これらは出席する親への配慮であるが、新社員と親のどちらが主役なのか分からなくなっている。

近年、子の入社式に親が同伴することが少なからずある。しかし、当社のような例から考えると、私は入社式に親が同伴することに反対である。

入社式は、企業のトップと直接顔を合わせ、その会社で共に働いていくことを誓う場でもある。その当事者は、言うまでもなく新社員一人一人であり親ではない。しかし、入社式に親が同伴している現実を見てみると、親にとっての一大イベントになってしまっている。これでは、新社員が入社の誓いを述べるという本来の目的が失われており、入社式をする意味がない。

一方、親が入社式に同伴することは、子の働く環境が分かるので、子が仕事上のトラブルで困った時にアドバイスができてよいという考えもある。しかし、仕事上のトラブルは子が解決すべき問題である。社会人になっても、親に助けをもらいたいと考えるのは精神的な未熟さからくる甘えだ。企業で働くからには早急に精神的な独立ちをすべきで、入社式への親の同伴は、その邪魔にしかならない。子が困った時にアドバイスができてよいという考えは間違っている。(22字×32行)

おわり